

自然学習講座

テーマ：水元公園の哺乳類を追え！

日時：令和8年1月12日（月・祝）午後1時から3時まで（雨天決行）

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：20人

受付開始：令和7年12月2日（火）

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和7年12月14日（日）までWeb・電話で受付。応募者より抽選。

※ 野外で茂みに入るとの観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。



水元公園に生息するタヌキなどの野生動物の痕跡を探し、動物たちの暮らしについて学びます。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品募集 募集期間
令和7年11月24日（月）～
令和7年12月25日（木）

葛飾区内で撮影された生きものの写真を募集します。応募方法は、水元かわせみの里などで配布される募集要項をご覧ください。

ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは（水元小合溜水質浄化センター）

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分（4月から10月）、9時から16時30分（11月から3月）

■ 休館日・・・月曜（祝日の場合は、その直後の平日）

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス（3月から11月の土日祝のみ）

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

（金61系統）

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和7年 11月20日

（通算第224号）



水元小合溜の生きもの：214

ツワブキ

キク科 ツワブキ属

全長 30～75cm

花期 10～12月

寒い季節に咲くありがたい花

海岸近くの岩だらけの崖や、斜面の草地などによく生え、水元かわせみの里やその周辺でも見られます。晩秋～冬という、他の植物の花が少ない時期に開花するので、園芸植物としてお庭によく植えられる他、貴重な蜜源・花粉のとれる花として、ハエやアブ、ハナバチの仲間などにも好まれます。

名前の由来は“フキ”から

葉っぱの形がフキに似ており、光沢があることから『艶落（つやぶき）』と呼ばれ、それが転じて『ツワブキ』と名付けられたと言われています。



発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



11/6 クビキリギス 成虫で越冬するキリギリスの仲間。イネ科の草本が茂る場所に隠れるため、意外と見つけづらい。



11/6 ビワコカタカイガラモドキ ヨシの茎に固着して一生を過ごす、カメムシの仲間。冬の野鳥たちが好んで食べる。



11/6 ジョロウグモ 道端や草木の茂みに大きな網を張る。基本は越冬しないが温暖化の影響か、稀に冬でも見られる。



11/2 キアシブトコバチ チョウやガの蛹に寄生する小さなハチ。寒かったためか、掲示板のポスター裏に隠れていた。



11/1 キセルガイの仲間 細長い殻を持つ小さな貝類の一種。雨の日によく見られ、施設の壁面を数匹で歩いていた。



11/6 ヨシガモ 目元の緑が鮮やかな、綺麗なカモ。花菖蒲園付近の水元小合溜で数羽の群れで泳いでいた。



11/13 サクラタデ サクラに似た形の花はタデ科の中では大きく(5~8mm程)ハエやチョウなどが吸蜜に訪れる。



11/8 クヌギのドングリ 猛暑のせいか夏季に未熟な実が多く落ちたが、結果栄養が集中したのか大きな実が見られた。



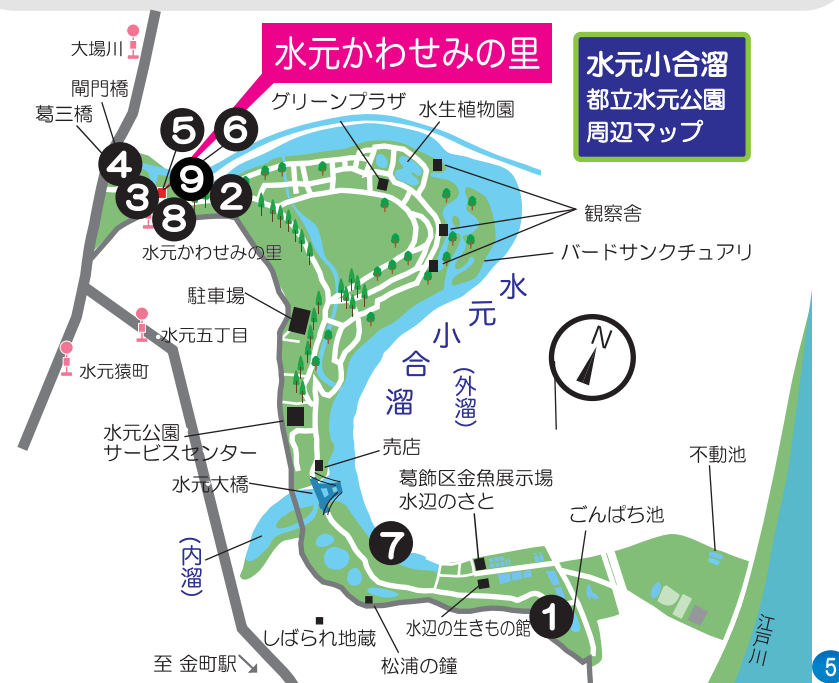
11/6 スクミリンゴガイの卵塊 鮮やかで目立つ。水際に産むが水没に弱く、ピンク色のものは水没すると孵化できない。

専門員コラム 「水際に際立つピンクの卵塊」のお話

水元公園もすっかり冬めいてきて、水上に枯れたハスの花茎が目立つようになりました。水上が一面茶色に彩られる中、ふと、視界にピンクの塊が飛び込んでくることがあります。

枯れたハスの花茎によくついてるピンクの塊。これはジャンボタニシこと、正式名称スクミリンゴガイの卵塊(⑨)です。スクミリンゴガイは台湾から食用として移入された外来種で、日本では「重点対策外来種」に指定されています。指定の理由はイネやレンコンを食害するためですが、水元公園では様々な水草を食害する可能性があり、環境への悪影響が懸念されます。産卵期には雌貝が水上の、植物やコンクリートブロックなどにピンク色の卵塊を産みつけます。卵塊は強い苦みがあり、捕食されることはほとんどありません。そんな極めて目立つこの卵塊ですが、実は水元公園ではこれまでそう多くは見られませんでした。孵化率が高くないこともあり、スクミリンゴガイの個体数は多くなかったのですが、今年は各所で卵塊を目にします。おそらく、水中の環境に何かしらの変化があったのでしょう。

普段見えない水中の環境も、日々変化しています。7月にはウシガエルがかつてないほど増殖しましたが、このピンクの塊も、そうした水辺環境の変化を示しているのかもしれません。(野間)



ボランティア活動報告

水元公園ふれあいフェスティバルに出展しました！

11月2日(日)に水元公園で開催された『水元公園ふれあいフェスティバル』に出展し、水元公園で見られる生きものの生体展示や、どんぐりコマ作りなど、自然物と触れ合いながら楽しく遊べるコーナーを設け、生きものの解説案内や施設紹介のお手伝いをさせていただきました。



施設パンフレットや通信などを配布し、水元かわせみの里の案内を積極的にしてくれました。



生きものの紹介では、時には、実際に触れ合う体験もしてもらいました。



どんぐりコマ作りでは、好きなどんぐりを選んでもらってコマにし、プレゼントしました。



カワセミが食べる生きものだけが釣れるゲーム。何が釣れて、何が釣れない生きものかな？

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きものの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 11月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

11月の見頃

ツヤアオカメムシ

全身が黄緑色でツヤのあるきれいなカメムシ。元々は南方系の種類でしたが、温暖化に伴って分布域が北上し、今では関東でもよく見られます。

主に4～11月が活動時期ですが、すっかり気温が下がったためか、落ち葉や樹名看板の裏など、いろいろな隙間に隠れて越冬の準備を始めています。



▲樹名看板をめくると...

野草園マップ



見られるポイントは
ココ！